

- 1 だいきくは、一きようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは二きようめにかき、ぶんしょうは、三きようめの二ばんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一でまげてかきはじめ、だんらく二を三きようをかえましよう。
- 3 しほのきようも三ばんめのますからかき、あたえをそろえましよう。

月 日 年

西原小  
一ねん

しいおじいちゃん  
のあし  
えぐち  
しやうごろう  
このひとは、だれ。  
なぜ、あし  
かないの。  
ぼくは、おかあさんに  
ききました。  
「しやうごろうのひいおじいさん  
だよ。」

おおかあさんが、おしえて  
くれました。  
た。しんじうつて  
いるおと  
このひとをみて、  
ぼくははじめ  
ひいおじいさんの  
かおをしりました。  
た。そして、ひいおじい  
さんは、  
ひだりあしがなかつた  
ことも、は  
いぬをしりました。

(不 許 複 製)

- 4 ちみそすいようつた、をうけましよう。も、もひとますのなかにかきましよう。
- 5 おはなしたは、のなかでいれましよう。
- 6 「は」と「む」を「へ」と「え」を「ま」がえすにつかわけましよう。



- 1 だいまくは、一きようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは二きようめにかき、おんしょうは、三きようめの二はんめのまずからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一じきけてかきはじめ、だんらくくじをきようをかえましよう。
- 3 しはどのきようも三はんめのまずからかき、あたまをさるえましよう。

月 日 ようび

いとしのなじは、ひいおばあさん  
 んの三かいきがありました。ぼく  
 は、かぞくみんなでおはかまいり  
 にいきました。そのあと、おじい  
 ちゃんちやのいえにいき、一まいのし  
 しまみせてもらいました。な  
 くなったいひいおばあさんといっし  
 ぶぶにうつついていたひとを、ばくは  
 しらなかつたのです。  
 「しようごろうかうまれるずつと  
 まえに、ひいおじいさんはなく  
 なっただからね。しらないのは、  
 しかたがないよ。」  
 と、おばあちゃんちやんがいました。

(不許複製)

- 4 よみやすいように、と。をつけましよう。、も。もひとますのなかにかきましよう。
- 5 おはなしたことは、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「お」を「」と「を」とをまちがえずにつかいわけましよう。



- 1 だいまくは、一ぎようめに、がっこう・かくねん・くみ・なまえは二ぎようめにかき、ぶんしようは、三ぎようめの二ばんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一じまけてかきはじめ、だんらくの二ぎようめをかきましよう。
- 3 しはどのぎようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 年

しんじうつていたんいおじ  
 いさんはいひだりあしかなくま  
 つばづえでたていました。ほく  
 は、とてもびくりました。  
 なぜ、ひだりあしがないの。  
 ふしぎにおもってたずねると、お  
 ばあちゃんかなしいかおあし  
 でおしえてくれました。  
 せんそうが、あつたあと、ひい  
 おじいさんは、たまからいしをほ  
 りだすしごとをしていたそいで  
 むかしは、いまのようなたぎなク  
 レーションしやなどのじゆうぎがな  
 たので、みんなできょうりやく

(不許複製)

- 4 よみやすいように、と。をつけましよう。も。もひとますのなにかきましよう。
- 5 おはなしたは、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「わ」「へ」と「え」「お」と「を」をまぢがえずにつかいわけましよう。



- 1 だいたい、一きようめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは二きようめにかき、ぶんしょうは、三きようめの二はんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず一でさけてかきはじめ、だんらくくしを二きようをかえましよう。
- 3 しほのきようも三はんめのますからかき、あたをそろえましよう。

月 日 さい

して、ほりだした。いしをはこんで  
 いたそうです。あるひ、しをは  
 こんでいた。ひいおじいさんのとこ  
 ろに、たきないわがおちて、ひい  
 おじいさんのひだりあしがはさま  
 れてしまっただのです。なんとかた  
 すげられたあと、びよううんでひ  
 いおじいさんは、ひだりあしをせ  
 つだんしなれば、いのちがたす  
 からないといわれたそうです。  
 「あ、このことは、よくおぼえて  
 いるよ。ますますいかにまのよう  
 にくほどではなかつたからね。」  
 おばあちゃん、は、びよううんでし

(不許複製)

- 4 よみやすいように、とをうけましよう。も、もひとますのなにかきましよう。
- 5 おはなしたとは、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「わ」「>」と「え」「お」とをまちがえずにつかいけましよう。



- 1 だいちくは、一ぎようめに、がっこう・がくねん・くみ・なまえは二ぎようめにかき、ぶんでようは、三ぎようめの二ばんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず「じ」をけてかきはじめ、だんらく「じ」をきようをかえましよう。
- 3 しはどのぎようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 とうひ

じつをまわっているとき、  
 おじいさんの大きなさげびごえを  
 きいたとおしえてくれました。  
 しんじうついでいたひいお  
 じいさんは、たいようのようにあ  
 かるいえがおおでした。とても世が  
 たかくて、大きなひとだとおも  
 ました。ぼくは、テレビでパ  
 ンピックのキョウぎをみたとき、  
 あしがぎそくのひとがはしっ  
 たことをおもいだしました。その  
 ひとたちがつけているが、そくは、  
 ほんもののあしにみえました。  
 「ひいおじいさんにも、いまのよ

(不許複製)

- 4 よみやすいように、と。をつけましよう。も。もひとますのなにかきましよう。
- 5 おはなした「と」は、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「お」・「ん」と「え」・「お」と「を」をまちがえずにつかいわけましよう。



- 1 だいもんは、一ぎようめに、がっこう・かくねん・くみ・なまは二ぎようめにかき、おんしようは、三ぎようめの二ばんめのますからかきましよう。
- 2 だんらくのはじめは、かならず二じきけてかきはじめ、だんらくの二ぎようめをかえましよう。
- 3 しほのぎようも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 ようび

うなぎそくかあればよかつたの  
 にね。  
 すると、おばあちゃんは一  
 「いまのせかいには、いろいろな  
 ぎそくができていて、わくをき  
 ているとわからない。でも、そ  
 れをつけているひとたちには、  
 だくさんのどりよくがあつたと  
 おもうよ。」  
 と、むさしくおしえてくれました。  
 きつとばくめひいおじいさんのし  
 やしんのえがおのうらにも、たく  
 さんのどりよくがあつたとおもい  
 ました。

- 4 よみやすいようた、と。をつけましよう。、も。もひとますのなかにかきましよう。
- 5 おはなして「と」は、「」のなかにいれましよう。
- 6 「は」と「わ」「へ」と「を」「お」と「を」とをまちがえずにつかいわけましよう。

(不許複製)

